

土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会

1 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり

(1) 地域からのまちづくり要望の概要

平成30年5月22日に開催した「土淵地区まちづくり懇談会」では、地域から「土淵地区の均衡ある発展計画」を明らかにし、「新駅の設置」、「交通対策」及び「上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用」を進めることについての要望が寄せられています。

要望項目	要望の内容
新駅の設置	新たな拠点としての前潟地区への新駅の設置。これに併せた駅前広場、駐輪場等の整備
交通対策	通過交通が多く渋滞が発生している状況を踏まえ、渋滞緩和・安全確保を図る観点からのJR田沢湖線北側の都市計画道路等の整備
土地区画整理事業跡地の土地利用	「まちづくり」の観点からの土地利用や地域振興の具体化

(2) 地域要望に基づく「まちづくり」への取組について

市は、「盛岡市都市計画マスタープラン」において地域別のまちづくりの方向性を示しています。この中で、土淵地区については『ふるさとの懐かしさが感じられる賑わいのあるまちづくり』を目標とし、「① 次の世代につなぎたい快適な住環境づくり」、「② 活気とふれあいのあるコミュニティづくり」及び「③ 安全安心で使いやすい交通施設の充実」をまちづくりの基本方針としています。

地域要望の「土淵地区の均衡あるまちづくり」は、各般の地域課題を解決するとともに、都市計画マスタープランにおける土淵地区のまちづくりを実現する観点からも必要な取組です。

市は、こうしたことを踏まえ、地域との対話を重ねながら「ふれあいと賑わいのあるまちづくり」を総合的かつ計画的に進めていきます。

2 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくりメニュー

新駅の設置、これに伴う新たな拠点の創出、上厨川地区土地区画整理事業跡地の有効利用など、まちづくりに関する取組を複合的に進め、地域の相乗的な活性化を目指します。

各メニューの具体については、地域の意見を聴きながら、内容・進め方を検討していきます。

(1) (仮称) 前潟駅の新設

① 目的

新駅設置により、駅周辺の賑わいを創出し、地域拠点化し求心力を高めます。また、新駅を中心とするバスルートを検討し、鉄道と連携した公共交通網を形成します。

② 実施予定

前潟地区にJR田沢湖線の新駅を設置し、駅ホーム、駅舎（待合室）、駅前広場（駐輪場、トイレ、一般車両乗降所）などの整備を予定しています。

(2) 交通対策

① 目的

道路網・交通安全施設の整備を進め、渋滞の緩和と安全対策を強化します。

② 実施予定

ア 都市計画道路の整備

地域における渋滞の緩和や安全性の向上などの面から必要となる都市計画道路について、都市計画道路整備プログラム（平成33年度～）への位置付けを検討します。

イ 通学路の安全確保

土淵小学校通学路の安全確保として、引き続き、市道青山一丁目上厨川2号への歩道設置を行います。

ウ （仮称）北バイパスの整備

国道46号から北に向かう（仮称）北バイパスの整備について、滝沢市と連携し、国に対し整備要望を行います。

(3) 上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用

① 目的

国道46号や東北自動車道など交通の要衝に隣接した地域の特色を活かした土地利用を推進し、当市及び盛岡広域圏の経済活動の活性化を図ります。また、土地利用の推進に併せて道路改良などインフラの整備を実施し、環境改善を図ります。

② 実施予定

ア 「地区計画」の策定による総合的な整備

「工業流通系エリア」，「ふれあいエリア」，「エネルギー利用施設エリア」などのゾーニングを検討し、総合的な整備を行います。

イ 廃棄物エネルギーの利活用による地域振興

盛岡広域圏（8市町）の既存6施設の更新施設として、環境への影響の低減に関し最新の技術を採用するほか、避難施設など地域防災拠点としての機能を備えた廃棄物処理施設（焼却施設）の整備を検討します。併せて、エネルギー利用施設（余熱利用施設）の整備も検討し、エネルギー（電気・熱）供給拠点として、地域の振興・発展に貢献します。

◇ まちづくりメニューごとの市の担当部署

まちづくりメニュー	市の担当部署	連絡先	
(仮称)前潟駅の新設, 交通対策	建設部交通政策課	019-613-8538	
上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用	「地区計画」の策定等	都市整備部市街地整備課	019-639-9056
	廃棄物エネルギーの利活用	環境部ごみ処理広域化推進室	019-613-8146

【お問合せ先】 盛岡市市長公室広聴広報課 ☎019-626-7517(直通)
※ お問合わせの内容により, 担当課へ御案内します。